

ME認定者の更新条件（案）について

「基礎コース」及び「防災・保全コース」認定者の有効期間を5年としており、登録更新の条件等に関する現在の検討（案）は以下のとおりです。

1 基礎コース

- ① 更新年度又は前年度に半日（13:30～16:00程度）の講習を受講することを必須とする。
 - ・講習概要：インフラの維持管理に関する国・県の最新動向や最新技術等
講習については、年1～2回の開催を検討し、更新者は3回の講習機会の中から選択できるように配慮する。
 - ◇理由：ME(基礎)コース認定者には上級コースである防災保全コースの取得を促していくが、上級コースを受講しない方であっても、公共工事に関するインフラの維持管理を適正に行うことができるよう、最新の動向や技術を学ぶことが必要であるため。
- ② 更新手数料を徴収する。（5千円～1万円程度）
 - ・手数料については、認定者への連絡や講座の運営、及び更新手続き等の経費を考慮し徴収する。
- ③ ME(基礎)コースの認定後にME(防災/保全)コースの認定を受けた者については、ME(基礎)コースは自動更新とする。

2 防災保全コース（防災コース、保全コース一括で実施）

- ① 認定コースに関する知識や技術の維持のみならず向上を図るため、5年間で一定単位（100ユニット程度）のCPD取得を原則とするが、以下の点を考慮する。
 - i) CPD単位については、原則認定を受けたものとするが、それ以外のものも認めることとし、自主申告とする。
 - ii) 業務の経験が、一定程度反映できる仕組みを構築する。
 - iii) CPD取得の一環として、1泊2日の現地研修及び座学の受講
 - ・更新年度又は前年度に1泊2日の現地研修及び座学を受講することを原則とする。なお、1日目の現地研修は必須とするが、2日目の座学を必須とするかどうかについては検討していく。

現地研修概要：福島県内におけるインフラの点検・診断・補修/補強に関する実施事例について、実現場の見学と講習を通じて理解を深める。

座学：防災・保全に係わる最新の動向，他機関（国土交通省，NEXCO など）におけるインフラの維持管理/防災の事例

 - ・本研修は併せて認定者間のネットワークづくりを支援する目的も有している。
 - iv) CPD取得が難しい行政関係者（特に市町村）の扱いについて検討していく。
- ② 更新講習の受講
 - ・更新年度又は前年度に半日（13:30～16:00程度）の講習を受講することを必須とする。
 - ・講習概要：インフラの維持管理に関する国・県の最新動向や最新技術等
- ③ 更新手数料を徴収する。（2万円～3万円程度）
 - ・手数料については、認定者への連絡や講座の運営、現地実習における各種機器や交通誘導員の手配、及び更新手続き等の経費を考慮し徴収する。
- ④ ME(基礎)コースの認定後にME(防災/保全)コースの認定を受けた者については、ME(基礎)コースは自動更新とする。